



# 六月(小)

みなづき  
水無月

参宿

六月五日芒種の節より  
月命壬午七赤金星の月  
暗剣殺西の方

旧五月小  
六月大

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
1日	日	かのと	五黄	電波の日、写真の日、万国郵便連合加盟記念日、気象記念日、相模川他鮎解禁	旧五月小	六	佛滅	なる	房	五む日	4.27	18.51	9.23	23.32
2日	月	みづのえ	六白	横浜開港記念日		七	大安	おさん	心	大み	4.26	18.52	10.28	23.59
3日	火	みづのとう	七赤	●上弦一二時四一分、一粒万倍日		八	赤口	ひらく	尾	母倉	4.26	18.53	9.32	23.14
4日	水	きのえ	八白	歯と口の健康週間、伝教大師忌、一粒万倍日		九	先勝	とづ	箕	大み	4.26	18.53	11.29	17.30
5日	木	きのと	九紫	芒種一八時五七分、世界環境デー、熱田神宮祭、宇治県神社祭、鶴岡大山大祭、一粒万倍日		十	友引	とづ	斗	十し	4.25	18.54	13.24	0.46
6日	金	ひのえ	一白	金沢加賀百万石まつり(8日迄)、一粒万倍日、広島とくささん大祭(8日迄)		十一	先負	たつ	牛	大み	4.25	18.54	14.21	0.42
7日	土	ひのひつじ	二黒	東京島越神社例大祭(8日迄)、東京日枝神社山王祭(17日迄)		十二	佛滅	のぞく	女	神よし	4.25	18.55	15.18	1.32
8日	日	つちのえ	三碧	危険物安全週間(14日迄)、不成就日		十三	大安	み	虚	神よし	4.25	18.55	16.17	1.57
9日	月	つちのとり	四緑			十四	赤口	たいら	危	神よし	4.25	18.56	17.18	2.27
10日	火	かのえ	五黄	時の記念日		十五	先勝	さだん	室	大み	4.25	18.57	18.18	3.01
11日	水	かのと	六白	入梅〇時二四分、〇望一六時四四分		十六	友引	とる	壁	重事よし	4.25	18.57	19.17	3.42
12日	木	みづのえ	七赤	八せん始め		十七	先負	やぶる	奎	●	4.25	18.57	20.11	4.31
13日	金	みづのとう	八白	チャグチャグ馬コ、三隣亡、大阪住吉大社御田植神事		十八	佛滅	あやぶ	婁	天おん	4.25	18.58	20.59	5.28
14日	土	きのえ	九紫			十九	大安	なる	胃	母倉	4.25	18.58	21.41	6.30

春から夏への季節の変わり目がこの月で、太平洋側の高気圧が次第に発達し、日本列島に沿う気圧の谷が通ったり、不連続線が生じたりして雨が降り続くのである。十日前後には「入梅」がある。これは太陽が黄経八十度に達する刻をいう。「梅」は、ちょうどこのころ梅の実が熟することから出ている。

高温多湿であるが、気圧の谷に入ったとき、妙に底冷えのすることがある。食中毒が多発するのもこの月である。細菌の繁殖に最適な気候であり、寒暖に差がある季節だからということがある。たまの晴れ間を十分活用し、風通し、家具、食器類などの手入れをし、とくなく衛生に気を配る。梅雨どきを無事に過ごすよう心掛けよう。

【冠】この月に限ってと言う行事は別にないので、出

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
15日	日	きのと	一白	父の日、弘法大師誕生会、北海道神宮例祭		廿	赤口	おさん	昂	母倉	4.25	18.58	22.16	7.35
16日	月	ひのえ	二黒	柏崎えんま市、不成就日		廿一	先勝	ひらく	畢	大み	4.25	18.59	22.47	8.42
17日	火	ひのと	三碧	伊勢神宮月次祭、興教大師誕生会、奈良率川百合祭、一粒万倍日		廿二	友引	とづ	觜	十し	4.25	18.59	23.15	9.48
18日	水	つちのえ	四緑	海外移住の日、一粒万倍日		廿三	先負	たつ	参	くさ日	4.25	18.59	23.41	10.54
19日	木	つちのひつじ	五黄	●下弦四時一九分、桜桃忌		廿四	佛滅	のぞく	井	神よし	4.25	19.00	12.00	11.39
20日	金	かのえ	六白	京都鞍馬寺竹伐り会式、庚申		廿五	大安	み	鬼	大み	4.25	19.00	13.09	12.05
21日	土	かのと	七赤	夏至一一時四二分		廿六	赤口	たいら	柳	神よし	4.25	19.00	14.20	13.45
22日	日	みづのえ	八白	オリピックデー、沖縄慰霊の日、八せん終り		廿七	先勝	さだん	星		4.26	19.01	15.35	14.50
23日	月	みづのと	九紫	東京芝愛宕千日詣り、清正公忌、九星陰遁始め、甲子、不成就日		廿八	友引	とる	張	ぢう日	4.26	19.01	16.51	15.35
24日	火	きのえ	九紫	●朔一九時三二分		廿九	先負	やぶる	翼	●	4.26	19.01	17.12	16.20
25日	水	きのと	八白	旧六月大		朔	赤口	あやぶ	軫	神よし	4.27	19.01	18.05	17.12
26日	木	ひのえ	七赤	国連憲章調印記念日、三隣亡		二	先勝	なる	角	重事よし	4.27	19.01	19.12	17.57
27日	金	ひのと	六白			三	友引	おさん	亢	天おん	4.27	19.01	20.53	18.38
28日	土	つちのえ	五黄	貿易記念日		四	先負	ひらく	氏	天おん	4.27	19.01	22.25	19.48
29日	日	つちのと	四緑	己巳、一粒万倍日		五	佛滅	とづ	房	十し	4.28	19.01	23.59	20.19
30日	月	かのえ	三碧	大はらい、夏越祭、大つち、一粒万倍日、不成就日		六	大安	たつ	心		4.28	19.01	25.15	20.48

産より初誕生日までの行事を整理してみよう。

この世に生をうけた新生児は、産声(うぶごえ)をあげ、産湯につかり、産衣(うぶぎ)につつまれる。親戚縁者に無事出産を通知したり、お祝いに餅をついたりする。

生まれて三日目は「三つ目祝い」、五日目を「五夜目」といって祝宴を張るところがある。七日目は「お七夜」といって新生児の名前を披露する儀式がある。出生届けは、生まれた日から十四日以内に市区町村の役所に提出する。

生後三十日前後(土地により多少違う)には「お宮詣」といって氏神様の所にお祓(はらい)をしてもらう。百二十日前後の「お食初め」を終えて、一年目の誕生祝いになるのである。

【祭】第三日曜日は「父の日」、五月の「母の日」と同様、父の働きあつての自分と思えば、父へも感謝をささげるべきであらう。

二十一日前後は「夏至」。文字からいえば夏の真っ盛り、北半球では昼間が最も長く、夜が短い日である。